

# 堂谷津の里 自然だより

# 2023年 9月



2023.9.15

猛暑から解放されるのもあと僅か、吹く風が心なしか涼しくなり、秋の到来を告げています。黄金色に染まった稲穂は頭を垂れ、田んぼは実りの秋一色、稲刈りを待つばかりです。畔を飛び交うイナゴ、咲き始めた野草たちにいつも癒されます。



カトリヤンマ



シオカラトンボ



オンブバッタ



コバネイナゴ

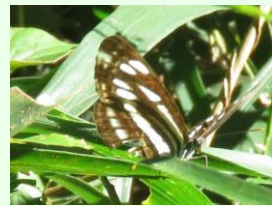
## 秋の生きもの



オニヤンマ



ギンヤンマ



コムスジ



ヒカゲチョウ

## 秋風そよぐ里山の秋



センニンソウ



キツネノマゴ



ハッカ



ノハラアザミ



クズ



ゲンショウコ



ヒメキンミズヒキ



ヤマホトギス



ヤブラン



ツリガネニンジン

### <季節メモ> ススキ

ススキは日本の風景の中に深く溶け込んだ植物で、9月頃に出るススキの穂にはだれもが秋の訪れを感じることでしよう。ススキは、カヤ、オバナともいわれます。すすく立つ木(草)からススキ、カヤは屋根を葺く材とするところから、オバナは、ススキの穂を動物の尾に見立てたことから・・・秋の七草のひとつ、「尾花」はススキのことです。ススキはイネ科の植物で、花の一つ一つは目立ちませんが、株立ちした葉の間から立ち上がった花穂は人の目を引きつけ、見渡す限りの群生地は、銀色に輝き雄大な景観を作ります。お月見にも欠かせない植物です。細長い葉の縁は、ケイ酸を含むためざらつき、気をつけないと手を切ります。よく似たオギは、湿地に生え、ススキのように株立ちしません。オギにはのぎがないため、穂が柔らかな感じ。どちらも秋を代表する植物です。比べてみてください。

写真・編集：晝間